

# 取扱取付説明書

ALPO-7 ALPO-8 ALPO-701L  
ALPO 全品共通

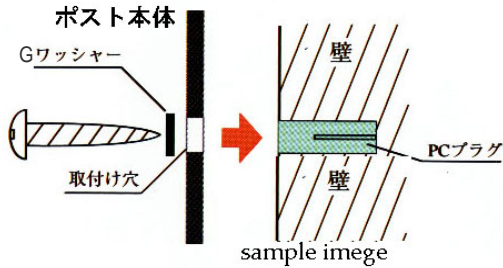


www.airjapan.com

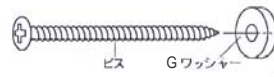
## 壁取付け方法（木ネジ使用手順）

- 1、ネジ+Gワッシャー2本とドライバー用意。
- 2、ネジ穴寸法を確認して壁に下穴を開ける。
- 3、扉を静に開けネジを本体と壁に固定する。  
硬い壁面の場合はPCプラグを使用下さい。

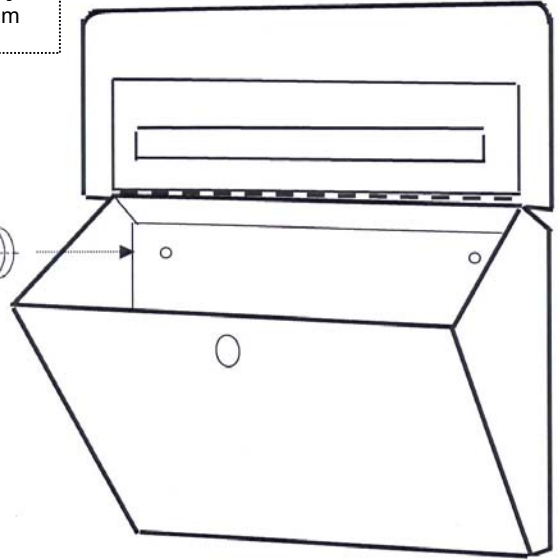
取付け高さの目安  
郵便物等の投入がし易い高さ  
郵便物の取出しがし易い高さ  
投入口～地面まで約1.3m



sample image



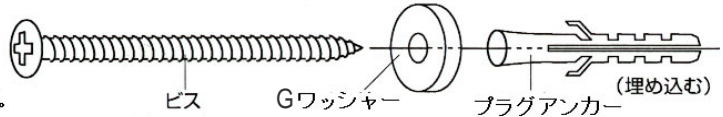
Free Key Lock  
鍵は仮止めも出来る2ロック式  
普段は仮止め、夜間や外出時等は確り鍵を  
使って施錠の2通りを選べるから便利で安心



取出口扉の開閉方法（F-Lockタイプ適応）  
製品は鍵で開閉しなくても良い構造です  
鍵の構造が施錠とフリーを選択可能です  
中蓋の施錠は自身の管理で行って下さい  
防犯上必要な場合必ず施錠をして下さい  
施錠された状態のまま扉の開閉は厳禁  
外扉/内扉共に静かに開閉を行って下さい

## 塀や壁などに直接取り付ける場合

●設置する部分にドリルで穴をあけ、付属アンカーを埋め込み  
ビスにワッシャーを入れ本体内側から壁にねじ込み固定します。



お施主様、販売店様へ 正しく取付け取扱いして頂くために必ずよくお読み下さい。

【お願い】基本的に壁や塀に取付される場合は、壁の材質にあったビス等を使用して下さい。

【お願い】基本的に壁や塀の通路に取付される場合は、専門業者にご依頼下さい。

【注意】雨の入り難い構造になっておりますが、長時間強雨風の場合等は早目に郵便物を取出して下さい。

【注意】投入口に郵便物等が挟まっている場合、投入口より雨水等が入る原因となりますのでご注意下さい。

【注意】本製品は郵便物を入れる事を目的としており、他の目的や他品の投入目的等に使用しないで下さい。

【注意】本製品はアルミ製のため、ビスと本体の間にワッシャーを入れビスの締付け過ぎには十分ご注意下さい。

【注意】本製品はアルミにウレタン塗装を施しておりヒンジ等の可動部が自然に塗装剥げする場合があります。

万が一、ヒンジ部の塗装剥げが起こりましても部品はステンレス製の為、製品に影響は御座りません。

【注意】外扉や内扉の開閉は破損等させないよう静かに開閉し慎重に行ってください。

万が一、強い衝撃や強引に開閉しますと塗装剥げ、破損や損傷の原因となり危険です。

【禁止】ポスト本体に強い衝撃や重い物を載せたり寄りかかったり吊り下げたり絶対しないで下さい。

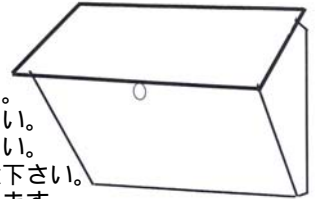
【禁止】製品は耐火構造ではありませんので高温や火気の近くでのご使用や取付けは絶対しないで下さい。

【禁止】製品には突起部などあり、特に投入口から手などを絶対入れないようにして下さい。

【禁止】製品は扉蓋が開閉する構造ですが扉を閉める時に手を離して自然落下で閉める事は絶対しないで下さい。

【禁止】製品は鍵で開閉しなくても良い構造ですが施錠された状態のまま扉を開ける事は絶対しないで下さい。

万が一、施錠された状態で強引に扉を開けた場合は扉の破損や部品の損傷に繋がりが危険です。



## 日常のお手入れでの注意

未永く使用頂く為に日常にお手入れ頂くことで耐久性や経年変化を防ぐ事が出来ます。  
設置環境やメンテナンスによっては経年の間に色褪せ現象等がおこる事が御座います。  
海辺や港海岸近からの潮風によって、塩害による汚れ等が発生することが御座います。  
シンナー等の溶剤、タワシ、砂入り洗剤等のご使用は避けてください。  
雨や雪などの水分は柔らかい布で拭きとってからメンテナンス下さい。

## 【メンテナンスのお願い】…美感のために

お手入れ標準色(特注色)ウレタン塗装の場合

・お手入れには自動車用の液体ワックス等が適しております。

・シンナーやタワシ、砂入り洗剤等のご使用は避けてください。

・水分は柔らかい布で拭きとってからメンテナンス下さい。

取付時やご使用中の衝撃にはご注意ください。

(破損や塗装剥げの原因です)

結露による水滴が発生した場合は布等で拭きとって下さい。

ポストは壁面と垂直水平(平行)に設置ください。

(雨水浸入の原因となります)

防水では有りませんので早目に郵便物を取出して下さい。

永年の間にリフォームカラー等、必要になりました場合、  
特注塗装も可能です。詳細は販売店にご相談下さい。

## PCプラグの施工手順

1		下穴はボルトプラグの外径より0.5mm小さいコンクリートドリルであけて下さい。取付け面に対し直角にあげ、プラグの全長より少し深くあけて下さい。
2		ダストポンプ等で下穴内に残っている切粉を除去して下さい。
3		力を入れず軽くハンマーで打込んで下さい。 棒を使って3mm奥へ打込んで下さい。
4		取付ける器材をあてがって木ねじで止めます。高温(70°以上)での使用はお避けください。 天上面への使用はお避けください。

お問合せは以下の販売店にお願いします。  
販売店名：